

中小企業のAI導入準備度チェック

当てはまる項目にチェックしてください。チェックの数と分野から、現在の課題を確認できます。

会社名： _____

実施日： 年 月 日

A 経営者の方針・目的

- ☐ 1. 生成AIを導入する目的が、まだ明確になっていない
- ☐ 2. 「とりあえず使ってみよう」という状態になっている
- ☐ 3. AIで改善したい経営課題・業務課題が整理されていない
- ☐ 4. 導入後の成果を何で判断するか決めていない

C 社員の利用・教育

- ☐ 9. 社員によってAIの利用状況に大きな差がある
- ☐ 10. 社員が自己流で生成AIを使っている
- ☐ 11. AIを導入しても、使う人が一部に限られそうである
- ☐ 12. 社員がAIについて質問・相談できる人が社内にはいない

B 業務の整理

- ☐ 5. 社内で時間がかかっている業務を把握できていない
- ☐ 6. 業務手順が担当者の中だけにしかない
- ☐ 7. AIに任せる業務と、人が行う業務を分けていない
- ☐ 8. AIを使う前提で業務の流れを見直したことがない

D 社内ルール・安全管理

- ☐ 13. [重要] AIへ入力してよい情報と、いけない情報を決めていない
- ☐ 14. 社員がどのAIサービスを利用しているか把握していない
- ☐ 15. [重要] AIが作成した文章や資料を確認するルールがない
- ☐ 16. 個人向けと法人向けAIサービスの違いを理解していない

E 継続・改善の仕組み

- ☐ 17. AI導入を担当する人が決まっていない
- ☐ 18. 社内のAI活用事例を共有する仕組みがない
- ☐ 19. AIによって削減できた時間やコストを確認していない
- ☐ 20. AIの新機能や使い方を継続的に学ぶ機会がない

チェック後に記入

合計 個／20個

最も多かった分野 A・B・C・D・E

[重要] は安全管理の重要項目です。チェック数が少なくても裏面をご確認ください。

今の状態と、次に取り組むこと

合計点だけでなく、チェックが集中した分野も確認してください。

1 | 合計チェック数から現在の段階を確認

0〜4個**基礎体制が整い始めています**

大きな課題は少ない状態です。効果測定と活用範囲の拡大を進めましょう。

5〜8個**一部の課題を整理する段階**

チェックが多かった分野から整えると、導入後の混乱を防ぎやすくなります。

9〜12個**導入前の設計を優先**

目的・対象業務・ルール・教育方法を整理してから、小さく試みましょう。

13個以上**業務と運用の設計を優先**

ツールを増やす前に、業務の流れと社内の運用体制から見直す段階です。

2 | チェックが最も多かった分野を確認

- A** 経営方針 導入目的と成果の判断基準を決める
- B** 業務整理 時間がかかる業務を工程ごとに整理する
- C** 社員教育 研修・相談・活用事例共有の場をつくる
- D** 安全管理 入力情報と確認手順のルールを整える
- E** 継続改善 担当者・効果測定・見直し日を決める

相談を検討したい目安 9個以上／1分野に3個以上／重要項目にチェック／全社導入・社員研修を予定

☐ 本チェックは簡易診断です。情報セキュリティや法務上の適合性を保証するものではありません。

さらに詳しく、自社の現在地を診断しませんか？

LINE公式アカウント登録後、詳細診断アプリをご案内します。

LINE登録で受け取れる情報

- ・6分野からわかるAI導入の詳細診断
- ・自社で優先して整理したい課題と次の一歩
- ・AIを前提にした業務設計・業務改善の実務情報
- ・齊藤の視点、厳選ブログ、注目トピックの定期配信



友だち追加後
「チェックリストアプリ」
と送信してください

AI導入は、便利なツールを選ぶことからではなく、目的と業務を整理することから始まります。

サンブレスコンサルティングは、中小企業の経営・Web・AI活用を一緒に整理します。